
蒸留フォーラム 2011

トラブルを未然に防ぐための技術・ノウハウ

主 催：分離技術会

協 賛：化学工学会分離プロセス部会、石油学会

日 時：2011年2月15日(火) 10:00～17:10

場 所：日本大学理工学部1号館（御茶ノ水）134教室

JR 総武線・中央線 御茶ノ水駅，地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅 徒歩5分

案内図 <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html>

定 員：80名（先着順）

蒸留操作は化学工業やさまざまな分野において中心的な役割を果たしています。昨年は皆様方のご要望が大きかった蒸留塔のトラブルシューティングを当学会として初めて開催することができ、多数の参加者のもと活発な質疑・応答ができました。参加者へのアンケート結果は、ほとんどの方がトラブルシューティングは継続して実施して欲しいというものでした。そこで、今回も大学はじめ企業の第一線で活躍されている方にご無理申し上げご講演をお願いしました。また、8件のご講演の後、パネル討論会を蒸留フォーラムとして初めて設けました。奮ってお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

プログラム

- はじめに（10:00～10:05）（日本大学）栃木 勝己 氏
- 1．膜蒸留のしくみと海水淡水化への応用（10:05～10:45）
（東京工業大学）伊東 章 氏
- 2．トラブルフリーを目指した蒸留塔設計と運転対応（10:45～11:25）
（日揮株）佃 学 氏
- 3．蒸留塔における不安定要因の解析とその対策（11:25～12:05）
（三菱化学株）山根 幸洋 氏
- < 昼 食 12:05～13:00 >
- 4．蒸留塔設計・運転上のトラブル未然防止（13:00～13:40）
（出光興産株）松本 忠雄 氏
- 5．蒸留プロセスの構築と考慮事項～エチレンプロセスを例として～（13:40～14:20）
（トタル・トレーディングインターナショナル）八木 宏 氏
- 6．蒸留塔のトラブル未然防止 - 設計における考慮 - （14:20～15:00）
（東洋エンジニアリング株）小林 康 氏
- < 休 憩 15:00～15:10 >
- 7．抽出蒸留の操作因子とトラブル（15:10～15:50）
（日本リファイン株）小田 昭昌 氏
- 8．充填塔を設計する際の留意点（15:50～16:30）
（住重プラントエンジニアリング株）阿部 匡悦 氏
- 9．パネル討論会（16:30～17:10）

蒸留全般に関する参加者の質問について、パネラー（講演者）が回答する形式の討論会を行います。参加申込書の下段に質問事項の欄がありますので、参加申込時に記入して提出願います。

参加費：維持・特別・正会員・協賛会員：15,000 円、会員外：25,000 円、同時入会：20,000 円
(含むテキスト代。その他書籍「実用蒸留技術」を贈呈いたします。)

学生：5,000 円 (ただし学生参加費には書籍「実用蒸留技術」の贈呈はございません)

参加費は郵便振替または下記銀行に前納にてお振込みください。

郵便振替：00100-9-21052 口座名 分離技術会

みずほ銀行：神田支店 普通預金 1010899 口座名 分離技術会

申込先：参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ、下記事務局まで FAX または e-mail にてお申込ください。申し込み締切日：2011 年 2 月 8 日(火)、ただし締切日前に定員に達した場合はその時点で締め切らせて頂きますので、お早めのお申込みをお願い致します。

蒸留フォーラム 2011 参加申込書

フリガナ名			
勤務先			
所属			
所在地	〒 TEL _____ FAX _____ e-mail _____		
送金内訳	郵便振替 ・ 銀行振込	請求書	要 ・ 不要
会員資格	(正・維持・特別会員) ・ 学生 ・ 協賛団体会員 ・ 同時入会 ・ 会員外		

上記項目は全てご記入くださいますようお願いいたします。

パネル討論会での質問事項：

--

〒214-0034 川崎市多摩区三田 1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL 044-935-2578 FAX 044-935-2571 e-mail : jimmu@sspej.gr.jp http://www.sspej.gr.jp/